



# 筆洗油（ブラシクリーナー）

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>

ひっせんゆ（ぶらしくりーなー）



筆洗油（油性タイプ）



筆洗油（水性タイプ）



洗浄後に使用する固形ブラシクリーナー

## 概要

油絵具を使用した筆は、筆洗油（ブラシクリーナー）という石油を精製した溶剤で洗浄します。使用方法は、容器（筆洗器）に筆洗油を注ぎ（分量は、筆を入れた時に筆先が完全に浸かる高さ）、絵具の付いた筆先を溶剤に浸けながら容器の底にある金網などに擦って洗い落とします。携帯用の小型の容器に入った筆洗油の場合は、容器自体が筆洗器になっていますので、筆先を直接容器に浸し、底にある凹凸部分等で擦り洗いします。

市販されている筆洗油の種類としては、石油臭のない「オドレス（無臭）タイプ」、筆を保護する「リンス入り」、界面活性剤により絵具を落とす「水性タイプ」などがあります。また、描画中の筆洗により筆洗油が画面に混入するのを嫌う場合は、精製度が高い「ペトロール」を使用しても良いでしょう。ちなみに灯油は、洗浄力が弱く成分の性質上揮発に時間もかかるため、使用を控えた方が良いでしょう。

筆洗油の取替え時期は、濁り具合、粘り気、臭いなどの変化で判断しますが、可能な限り早めの交換を心がけましょう。長持ちさせるコツは、筆洗の前に筆に付いた絵具をボロ布などでよく拭っておくことです。また、汚れた筆洗油の処分方法は、市販の油処理剤を用いることをお勧めします。油を固めるタイプと、固形媒体に吸収させるタイプ等があり、環境問題や発火の恐れがなく安全に廃棄できます。

取り扱いの注意として、揮発性が高いため容器や筆洗器のフタをしっかりと閉めて保管し、換気や室温、火の気などには常に注意をして利用しましょう。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字

## 筆洗いの手順1 (豚毛筆の場合)



手順1. 筆洗器のフタを開け、筆洗油を注ぎます。換気の良い場所で行いましょう。



手順2. 筆洗油の分量は、筆先が完全に浸かるほどの量を目安にします。



手順3. 筆洗油で洗う前に、ボロ布などで筆についた絵具を拭き取っておきます。そうすることで筆洗油の汚れを少なくできます。



手順4. 筆先を、筆洗器の底にある金具などに擦りつけ、汚れを洗い落とします。汚れの落ち具合をボロ布などで拭いて確かめ、布に絵具がつかない程度まで洗います。



手順5. 筆についた筆洗油を布でよく拭き取り、筆先を整え、立てて乾かします。筆洗油は揮発性が高いので使用後は、筆洗器のフタをして保管します。

## 筆洗いの手順 2 (豚毛筆の場合)



手順 1. 筆洗油で絵具を落とした筆を、水やぬるま湯ですすぎます。



手順 4. 洗浄しおわったらぬるま湯ですすぎ、布で水気をきります。



手順 2. 固形ブラシクリーナーや石けんで洗浄します。



手順 5. 筆先を整えます。



手順 3. 筆先の奥の汚れも、よく洗い落としましょう。



手順 6. 立てた状態で乾かします。